

# 儀礼が結ぶ絆：やっさ祭りにおけるフィールド研究

○森井詩・中分遥

(安田女子大学心理学部ビジネス心理学科)

## 序論

儀礼は参加者同士の友好感情や信頼行動を促進し、それが集団成員間の社会的絆を深めることが議論されてきた(Whitehouse, 2021)。本研究では、日本国内で開催される儀礼の一つとして、広島県三原市の「やっさ祭り」で調査を行った。調査では、踊り手の社会的絆が形成されるのかアイデンティティ・フュージョン尺度(Swann et al., 2009)を用いて検討した。

**やっさ祭りの概要** 広島県三原市には夏になると開催される「三原やっさ祭り」という祭りがある。公式 web ページによれば、踊りが始まったのは 1567 年、小早川隆景による築城完成を祝って踊り出したのが始まりだとされている。今の祭りの形となったのは 1976 年からで、「三原やっさ祭りを市民総参加で心の触れ合いの場づくりの行事とし、若者が運営の中心となり、市の一大観光資源として定着させたい。」(三原やっさ祭り実行委員会, 2023) という趣旨がある。毎年 8 月に開催され、40 数万人の人出で賑わう。2 日間のやっさ踊りでは、約 7,000 人の踊り手が参加する。本研究の目的はこのやっさ祭りが心の触れ合いの場となり社会的絆を形成するのか実証的に検討した。

## 方法

**参加者** 第 48 回三原やっさ祭りに出場した栄会の踊り手を調査の対象とした。16 人が本研究に参加した。すべての参加者は、web 上でコンセンサスフォームに同意した。

**手続き** 調査は 2023 年 8 月 12 日の第 48 回三原やっさ祭り当日に行った。ただし、1 名は祭りから 1 日経過して回答を提出した。アンケートは Google フォームを用いて実施した。当日は、アンケートリンクの QR コードが記載された紙を配布し、参加者はそれぞれスマートフォンでウェブ・フォームにアクセスし回答した。

**実験素材** Swann et al. (2009)のアイデンティティ・フュージョン尺度を用いて、調査に参加したやっさ祭りの参加者と各集団とのアイデンティティ・フュージョン度合いを測定した。集団は、①三原

市、②家族、③所属チーム（所属するチームの踊り手）、④全チーム（全てのチームの踊り手）を対象とした。尺度は、7 件法で尋ねた。

## 結果

尺度の midpoint である 4 点より、成績が有意に高いか 1 標本の  $t$  検定で検討した。その結果、②家族 ( $M = 5.56, SD = 1.79, t(15) = 3.50, p = .003, d = 0.87$ ) と③所属チーム ( $M = 5.38, SD = 1.71, t(15) = 3.22, p = .006, d = 0.81$ ) に関しては、有意な差が見られた。一方で、①三原市 ( $M = 4.81, SD = 1.94, t(15) = 1.68, p = .115, d = 0.42$ ) と④全チーム ( $M = 4.00, SD = 1.59, t(15) = 0.00, p = 1.000, d = 0.00$ ) に関しては、有意な差が見られなかった。この結果は、やっさ祭りの踊り手が、①家族と③所属チームに関しては、midpoint よりも有意に高くアイデンティティがフュージョンした状態であることを示すものである。

## 考察

本研究の結果、三原やっさ祭りが、同じチームの社会的絆を形成する役割を持っていることを示唆するものである。一方で、全チームに対しては、社会的絆が高まった状態であるという結果は得られなかった。この理由として考えられるのは、祭りの最中に各チームの採点がされた点である。これにより、最後に順位が発表されるため、仲間というよりもライバルのように認知した可能性が考えられる。

## 引用文献

- 三原やっさ祭り実行委員会 (2023). 三原やっさ祭り. <https://www.yassa.net/index.html>
- Swann, W. B., Gómez, Á., Seyle, D. C., Morales, J. F., & Huici, C. (2009). Identity Fusion: The Interplay of Personal and Social Identities in Extreme Group Behavior. *Journal of Personality and Social Psychology*, 96(5), 995–1011. <https://doi.org/10.1037/a0013668>
- Whitehouse, H. (2021). *The Ritual Animal*. Oxford University Press.